

# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 総務課
施策の基本方向	1	性別による固定的な役割分担意識の是正	
具体的施策	12	男女共同参画の意識啓発活動の推進	
取組内容	男女共同参画や男女平等を含む人権問題等について、各種講演会や研修会、イベント等の開催を通じ、広く市民に意識啓発を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画に関する講座を開催する。</li> <li>男女共同参画フォーラムを開催する。</li> </ul>
	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>エポック・荒尾男女共同参画に関する講座(年14回)</li> <li>男女共同参画推進室講座 4回(男性向け講座、女性のキャリア支援講座、女性就労支援講座、企業向け講座)</li> <li>時代の流れに合ったフォーラムや講座の開催を目指す。講座の定員に対する参加率目標100%</li> </ul>

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		まちづくりアンケートにおいて「荒尾市の男女共同参画社会に向けた取組が進んでいる」と回答した市民の割合	%	33.8 (H27アンケート調査結果)	30.2	33.4	31.8	31.6	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く女性の家において、女性のための講座としてハーブティー講座を実施。(参加率 100%)</li> <li>男女共同参画推進室主催の講座では「キャリアデザインセミナー」をオンラインで開催。(参加率 70.0%)</li> <li>男性向け講座「プレバパクラス+」対面+オンライン開催(参加者 累計 11人)</li> <li>男性向け講座「リラックスヨガ」対面開催(参加率 88.9%)</li> <li>事業所向け講座、就労支援講座は実施できなかった。</li> <li>男女共同参画フォーラムは中止と決定したが、メッセージ募集のみ実施することとし、啓発を継続することができた。</li> <li>農林水産課と共催でレシピコンテストを実施し、男女共同参画推進室からは「おとう飯賞」を設定し、男性の家事参画の啓発につなげた。レシピ本も作成し、その中で「おとう飯」の説明も掲載した。</li> <li>成果指標については、まちづくりアンケートで男女共同参画の質問項目が削除されたため、結果を出すことができなかった。</li> </ul>
----------	-----------	--

R3年度取組実績	今後の課題	コロナ禍でオンライン開催で実施できた講座もあった。どこからでも気軽に参加できるオンラインでの開催は、多様な市民の参加を促すことにつながっていくと考えるため、コロナ禍だからだけでなく、今後も継続して実施していく必要がある。
----------	-------	--

評価	B	評価の理由	コロナ禍で実施できなかった講座があった。また、事業の参加率も目標の100%には届かなかったが、講座の参加者からは学びにつながった、今後も開催を希望する等の感想があった。
----	---	-------	--

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	コロナ禍において、在宅勤務等が普及している中、オンラインでの講座も市民に広がっている。特に育児や介護等を抱えているのはいまだ女性が多い中、様々な方に参加しやすい環境を作るためにも、今後もオンラインでの開催を継続していく必要がある。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 人権啓発推進室
施策の基本方向	1	性別による固定的な役割分担意識の是正	
具体的施策	12	男女共同参画の意識啓発活動の推進	
取組内容	男女共同参画や男女平等を含む人権問題等について、各種講演会や研修会、イベント等の開催を通じ、広く市民に意識啓発を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	①日常生活における人権感覚を涵養するために研修会及び講演会を実施。 ※人権問題講演会(年2回、一般市民対象) ※ひまわり学級(年6回、一般市民対象) ②日常生活における人権感覚を涵養するために2021荒尾市人権フェスティバルを開催。
	目標	①講演会等を実施し、人権感覚を涵養する。 ※人権問題講演会(年2回) 参加者目標延べ400名 ※ひまわり学級(年6回) 参加者目標延べ70名 ②人権フェスティバルを開催し、人権感覚を涵養する。参加者目標:1,500名

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	①※人権問題講演会:9月4日と2月26日に予定していた人権問題講演会については、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 ※ひまわり学級:6月と10月に開催し、延べ25名が参加している。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、複数回中止となったため、予定していた開催数を達成することができなかった。 ②12月4日に予定していた2021荒尾市人権フェスティバルについても、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。
	今後の課題	①②今後もイベントの趣旨や目的の説明をはじめとする啓発活動を細やかに行うことで、参加者数の増加を目指す。イベント途中で参加者の退場をいかに抑えるかが問題。
評価	B	評価の理由 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等のため、昨年度に引き続き実施できなかった取り組みもあったが、ひまわり学級については2回実施し、あらゆる人権問題に敏感な視点を養成することが出来たかと思う。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
 A: 目標を達成することができた B: 目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
 C: 目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D: 事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	①②昨年度は新型コロナウイルス感染防止のため、人権問題講演会および2020荒尾市人権フェスティバルについてはいずれも中止となった。感染状況により開催については不透明であるが、今後もイベントの趣旨や目的の説明をはじめとする啓発活動を細やかに行うことで、引き続き参加者数の増加を目指す。イベント途中で参加者の退場をいかに抑えることができるかが課題である。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 生涯学習課
施策の基本方向	1	性別による固定的な役割分担意識の是正	
具体的施策	12	男女共同参画の意識啓発活動の推進	
取組内容	男女共同参画や男女平等を含む人権問題等について、各種講演会や研修会、イベント等の開催を通じ、広く市民に意識啓発を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	男女共同参画推進委員1名が、男女共同参画フォーラム実行委員会に参加。
	目標	生涯学習課の立場で実行委員会に参加することにより、学校を通じたフォーラムの周知や男女共同参画に関する意識自体の更なる啓発を図る。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	男女共同に関する研修の受講や啓発を行った。 また、男女共同参画フォーラム実行委員に就任したものの、別公務のため実行委員会議に参加ができなかった。
	今後の課題	来年度は会議やフォーラム等に積極的に参加をするとともに男女共同参画に関する啓発をおこなっていく。
評価	B	評価の理由 実行委員会議への参加はできなかったが、男女共同に関する研修の受講や啓発を行った。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	※新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催されていないため、なし。
----------------	------------------------------------

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 総合政策課
施策の基本方向	1	性別による固定的な役割分担意識の是正	
具体的施策	13	男女共同参画社会形成のための情報の提供	
取組内容	男女共同参画関連資料収集や、国・県・市等の施策や調査等情報収集を行い、資料及び情報の提供を行う。		

R3 年度 取組 内容	取組内容	男女共同参画関連の情報収集は男女共同参画推進室で行っており、広報担当では取組が困難なため、重点目標が同じで具体的施策番号14「男女共同参画に配慮した情報の提供」へ集約することとした。
	目標	

成果 指標	指標名	単位	現状 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3 年度 取組 実績	実績 (成果と分析)	
	今後の課題	
評価	評価の理由	

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 総務課
施策の基本方向	1	性別による固定的な役割分担意識の是正	
具体的施策	13	男女共同参画社会形成のための情報の提供	
取組内容	男女共同参画関連資料収集や、国・県・市等の施策や調査等情報収集を行い、資料及び情報の提供を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次荒尾市男女共同参画計画の周知を図る。</li> <li>・国・県・市等の男女共同参画関連情報について随時収集し、広く市民に提供を行う。</li> <li>・研修等に参加し、最新の情報を収集し、市民へ発信する。</li> </ul>
	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次荒尾市男女共同参画計画に基づく取り組みの結果を市ホームページで公表する。その他、男女共同参画関連講座やフォーラム開催時など、様々な機会ごとに、パネル展示等を行い、市民の意識啓発を図る。</li> </ul>

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	第3次男女共同参画計画に係る令和2年度実績報告をHP、広報に掲載した。
	今後の課題	新型コロナウイルス感染症により、研修等の対面開催が難しい状況で、啓発のための計画概要版の資料配布が困難であった。
評価	C	評価の理由 広報とHPによる計画の発信にとどまった。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	今後の継続的に、計画に基づく成果を公表し、最新の情報収集に努める。
----------------	-----------------------------------

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 生涯学習課
施策の基本方向	1	性別による固定的な役割分担意識の是正	
具体的施策	13	男女共同参画社会形成のための情報の提供	
取組内容	男女共同参画関連資料収集や、国・県・市等の施策や調査等情報収集を行い、資料及び情報の提供を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	中央公民館の特設コーナーにおいては、市からの男女共同参画関係の配布物、資料等を積極的に置き、情報提供を促す。
	目標	中央公民館閲覧コーナーにおける男女共同参画関係資料の充実

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	館内に資料等を設置する特設コーナーを設け、積極的に広報啓発活動に努めた。
	今後の課題	今後も市民への情報を継続していく。
評価	A	評価の理由 積極的に広報啓発活動に努め、男女共同参画に対して全面的に協力する姿勢であるため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	市民への情報提供を継続する。
----------------	----------------

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 総合政策課
施策の基本方向	1	性別による固定的な役割分担意識の是正	
具体的施策	14	男女共同参画に配慮した情報の提供	
取組内容	広報、ホームページ、及び、市が編集、発行する印刷物(ちらし、パンフレット等)等の作成に当たり、男女どちらかに偏った表現や、性別によりイメージを固定化した表現等をせず、多様な受け手を意識し、男女共同参画の視点に立った表現を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部署から掲載を依頼された記事について、男女共同参画の理念やジェンダー定義などについて誤解や恣意的運用・解釈の表現がないよう、アクセシビリティと共に確認を行う。</li> <li>掲載記事を複数人で念入りに校正を行い、表現の精査を徹底し、女性の人権・男女平等に配慮した内容となるようにする。</li> </ul>
	目標	性別に基づく固定観念にとらわれない、多様なイメージを浸透させるため、記事の掲載依頼を行う担当部署や委託事業者と協力し、男女共同参画の視点に立った表現になるように努める。また、今年度予定している広報の委託及びホームページの改修に合わせて、誰もが見やすいページ作りに取り組む。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<p>広報紙は、係員全員で校正を実施し、表現等の確認を行った。事業委託後も、委託事業者と共に広報発行までに複数回の入念なチェックを継続して実施。1歳になる市内の子どもを紹介するコーナーにおいては、性別ごとに分けていた敬称を統一するなど、表現の見直しも実施した。3月には広報推進員会議を開催し、職員のアクセシビリティの向上や伝わりやすく効率的な情報発信の推進を図るため、各種媒体の情報発信の手法について研修を実施した。</p>
	今後の課題	<p>職員の男女共同参画の視点に立った情報発信技術の向上。 ※広報広聴係におけるチェックや広報推進員の研修は継続しつつ、担当部署等より提供される男女共同参画に係る各種情報をチェック体制や研修内容に組み込んでいく。</p>
評価	B	<p>評価の理由 各種情報発信媒体について、男女共同参画の視点に立った表現での発信となるよう配慮を継続する。</p>

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	職員のアクセシビリティ意識の向上
----------------	------------------

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 総務課
施策の基本方向	1	性別による固定的な役割分担意識の是正	
具体的施策	14	男女共同参画に配慮した情報の提供	
取組内容	広報、ホームページ、及び、市が編集、発行する印刷物(ちらし、パンフレット等)等の作成に当たり、男女どちらかに偏った表現や、性別によりイメージを固定化した表現等をせず、多様な受け手を意識し、男女共同参画の視点に立った表現を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	・広報・ホームページや行政が発行する印刷物等に男女共同参画視点での問題点等を見つけた際には適切な対応を行う。
	目標	・男女共同参画視点を取り入れた表現に関して問い合わせがあった場合には、県や専門機関等と連携し正確な回答ができるよう努める。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	農林水産課と共催で実施する「あらおレシピコンテスト」のチラシについて、料理＝女性のイラストを使ってあったため、男性のイラストも入れるように要望した。結果、女性、男性どちらのイラストも入ったチラシが完成した。
	今後の課題	今後も情報発信等には、ジェンダー平等の視点での表現に気を配っていく。市役所全体にジェンダー平等の視点が持てるようになるために、継続した職員研修の実施も必要。
評価	A	評価の理由 依頼のあったものにはジェンダー平等の視点での作成に協力できた。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	行政が発信するものの中に、間違った表現があってはならないため、今後も引き続き様々な視点から確認を行っていく。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 関係各課(産業振興課)
施策の基本方向	1	性別による固定的な役割分担意識の是正	
具体的施策	14	男女共同参画に配慮した情報の提供	
取組内容	広報、ホームページ、及び、市が編集、発行する印刷物(ちらし、パンフレット等)等の作成に当たり、男女どちらかに偏った表現や、性別によりイメージを固定化した表現等をせず、多様な受け手を意識し、男女共同参画の視点に立った表現を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	男女共同参画に関する情報を随時共有する。
	目標	広報あらお、ホームページでの情報提供の内容、印刷物作成時の内容において、男女共同参画の視点に立った表現を行う。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	広報やホームページでの情報提供や印刷物の作成等の際には、男女共同参画の視点に立った表現に注意を払うことができた。
	今後の課題	広報や印刷物等の作成時には、今後も適切な表現を行うよう気をつける必要がある。
評価	A	評価の理由 男女共同参画の視点に立った表現となるよう、注意を払い広報やホームページでの情報提供等を行ったため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	引続き、広報やホームページでの情報提供や印刷物作成等において、男女共同参画の視点に立った表現を行う。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 総務課
施策の基本方向	1	性別による固定的な役割分担意識の是正	
具体的施策	15	仕事と家庭の両立支援と働き方の見直し	
取組内容	長時間労働を前提とした男性中心型の労働慣行を見直し、家事、育児、介護、地域社会等への男性の参画が促進されるよう、男性自身や家族、事業者や職場等の意識改革の啓発を行うとともに、男性の育児休業取得促進等、ワークライフバランスを支援する取組等の情報提供を行い、多様な働き方を支援する。		

R3年度取組内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く女性の家及び男女共同参画推進室で、男性を対象とした男女共同参画関連講座を開催する。</li> <li>事業所のトップ及び管理職を対象とした働き方改革関連の講座を開催する。</li> <li>ワークライフバランスを推進する取組事例等を収集し、産業振興課と連携し、市民や事業者等への情報提供を行う。</li> <li>市役所管理職職員(特別職含む)向けの管理職(イクボス)研修を行う。</li> </ul>
	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の中で仕事に重きを置きがちな男性に男女共同参画の意識啓発を図り、家庭や地域への参画を推進する。</li> <li>多様な人が活躍できる働きやすい職場づくりを進めることができるよう事業所に向け意識啓発を行う。</li> <li>市役所管理職向けの管理職(イクボス)研修において、行動に結びつくようなより実践につながる研修を実施する。</li> </ul>

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く女性の家主催事業として、10月からヨガ講座を開催した。男性のコミュニティ作りまでにはつながらなかったが、仕事中心になりがちが男性が、この講座の日だけは定時で仕事を終えるように調整して参加された方もいた。働き方改革の観点からも、いい機会になったと考える。</li> <li>働く女性の家主催事業「プレバパクラス+」では父親の育児参画の必要性にからめ、働き方の見直しに関する講和も実施した。</li> <li>事業所向けの講座は新型コロナウイルスの影響から開催できなかった。</li> <li>10月から市役所職員向けにイクボス研修を実施した。課長補佐以上クラスの回と係長クラスの回にわけ、それぞれの役割に必要なマネジメントや生産性の高い働き方について等、知識を習得する研修となった。途中コロナ禍でオンライン開催も取り入れつつ、ハイブリットで実施した。</li> </ul>	
	今後の課題	啓発事業は広報等での周知を考えると、最低でも2カ月前には決定が必要となるが、新型コロナウイルス感染症により、事業内容や開催方法等の予定が立てづらい。オンラインに切り替え可能な事業を実施していく必要がある。	
評価	B	評価の理由	新型コロナウイルス感染症により、実施できない事業もあったが、オンラインにより効率的に開催できた事業もあった。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	コロナ禍であっても持続的に推進していく体制づくりとして、オンライン開催を検討していく。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	





# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 生涯学習課
施策の基本方向	1	性別による固定的な役割分担意識の是正	
具体的施策	15	仕事と家庭の両立支援と働き方の見直し	
取組内容	長時間労働を前提とした男性中心型の労働慣行を見直し、家事、育児、介護、地域社会等への男性の参画が促進されるよう、男性自身や家族、事業者や職場等の意識改革の啓発を行うとともに、男性の育児休業取得促進等、ワークライフバランスを支援する取組等の情報提供を行い、多様な働き方を支援する。		

R3年度取組内容	取組内容	くまもと「親の学び」プログラムなどを活用し、荒尾市PTA連合会や各学校のPTAの保護者に向け、男性の育児や家事参加への意識づけを行う。
	目標	くまもと「親の学び」プログラム進行役養成講座やプログラム体験会等において、男性参加者への積極的な育児や家事参加を支援する。講座等への男性参加者数20人を旨す。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	新型コロナウイルス感染拡大のため、幼稚園・保育園等でのくまもと「親の学び」プログラムが開催できなかった。小学校においても実施回数が例年の半分程度であった。(15回実施)
	今後の課題	各小中学校の就学時や体験入学時に行うため、男性参加者に限定したプログラムの開催は難しいが、荒尾市PTA連合会等と連携し、より多くの男性参加者への意識付けを行っていききたい。
評価	B	評価の理由 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、十分な開催はできなかったが、開催方法を見直し開催できた会があった。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
A：目標を達成することができた  
B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった  
D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	各小中学校の就学時検診や体験入学に併せて行うため、男性参加者に限定したプログラムの開催は難しいが、荒尾市PTA連合会の理事会等で実施し、より多くの男性参加者への意識づけを行っていききたい。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 関係各課 (監査委員事務局)
施策の基本方向	1	性別による固定的な役割分担意識の是正	
具体的施策	15	仕事と家庭の両立支援と働き方の見直し	
取組内容	長時間労働を前提とした男性中心型の労働慣行を見直し、家事、育児、介護、地域社会等への男性の参画が促進されるよう、男性自身や家族、事業者や職場等の意識改革の啓発を行うとともに、男性の育児休業取得促進等、ワークライフバランスを支援する取組等の情報提供を行い、多様な働き方を支援する。		

R3年度取組内容	取組内容	仕事と家庭の両立(ワークライフバランス)ができるような職場環境を目指す。
	目標	一年を通して、片寄ることなくバランスの取れた労働時間の実現。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	有給休暇の取得率の増加により、一年を通して働きやすい職場・労働時間の実現ができた。
	今後の課題	全体的にみると有給休暇の取得率が低いため、ワークライフバランスに向けた業務の効率化へのあり方。
評価	B	評価の理由 前年度と比較すると、有給休暇の取得数は増加し、時間外勤務の増加はなかったため、概ね目標に沿った成果がみられた。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
A：目標を達成することができた  
B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった  
D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	監査事務における業務の効率化
----------------	----------------

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 関係各課(秘書課)
施策の基本方向	1	性別による固定的な役割分担意識の是正	
具体的施策	15	仕事と家庭の両立支援と働き方の見直し	
取組内容	長時間労働を前提とした男性中心型の労働慣行を見直し、家事、育児、介護、地域社会等への男性の参画が促進されるよう、男性自身や家族、事業者や職場等の意識改革の啓発を行うとともに、男性の育児休業取得促進等、ワークライフバランスを支援する取組等の情報提供を行い、多様な働き方を支援する。		

R3年度取組内容	取組内容	市長・副市長随行業務での休日出勤が多いので、特定の職員に休日出勤が集中しないよう分担する。
	目標	職員の月ごとの休日出勤数を、それぞれの月の休日数の半分以下とする。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	コロナ禍の中、市長・副市長の休日の公務が少なかったことから、目標を達成することができた。
	今後の課題	ここ2年間は上記状況であるが、通常どおり休日の公務が戻ってきた状態で、目標が達成できるよう業務分担を進める必要がある。
評価	A	評価の理由 目標を達成することができたので

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	昨年度は、新型コロナウイルスの影響があったため休日出勤が少なく、目標達成も容易であった。しかし、今年度の後半から通常の休日出勤数に戻っていくことが予測されるので、そうなるからどのように目標達成していくかが課題
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 関係各課(会計課)
施策の基本方向	1	性別による固定的な役割分担意識の是正	
具体的施策	15	仕事と家庭の両立支援と働き方の見直し	
取組内容	長時間労働を前提とした男性中心型の労働慣行を見直し、家事、育児、介護、地域社会等への男性の参画が促進されるよう、男性自身や家族、事業者や職場等の意識改革の啓発を行うとともに、男性の育児休業取得促進等、ワークライフバランスを支援する取組等の情報提供を行い、多様な働き方を支援する。		

R3年度取組内容	取組内容	業務マニュアルを整備し、課の業務の共有化に取り組む。
	目標	男女共に家事、育児、介護等へ参画ができるよう休暇の取得しやすい環境づくりを目指す。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	業務マニュアルの整備がある程度進み、業務の一部が共有化できた。
	今後の課題	男女共同参画社会実現のための意識改革が今後の課題である。
評価	B	評価の理由 少人数でも休暇の取得しやすい体制を目指し、やや目標に近づくことができた。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
A：目標を達成することができた  
B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった  
D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	担当者不在時の即時対応が困難となる場合があった。
----------------	--------------------------

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 学校教育課
施策の基本方向	2	あらゆる学習の場での男女共同参画の意識づくり	
具体的施策	16	男女共同参画を推進する教育・学習の推進	
取組内容	発達段階に応じて指導方法を工夫しながら、児童生徒の人権尊重や男女平等の意識を育てる教育・学習の充実を図るとともに、児童生徒の保護者やPTA活動等への男女共同参画意識の啓発を推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校において、人権教育年間指導計画に沿い授業の実施を行うよう指導助言する。</li> <li>発達段階時に応じた性教育の実施(男女の役割)を指導助言する。</li> <li>学校便り等での保護者啓発を推奨する。</li> </ul>
	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒が人権の尊重や男女の相互理解・相互協力など、人としてのあり方を身につけるために役立つ教材の選択や指導方法を工夫する。</li> <li>すべての学校において男女共同参画に関する研修や授業を実施するよう指導助言する。</li> <li>学校における混合名簿の利用については、その必要性に応じて推奨する。</li> <li>学校においては、児童生徒の性差をつけない平等な役割分担を進めるよう指導助言する。</li> </ul>

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナの感染拡大防止対策のため、人権学習において思いを伝え、話し合う活動や集会活動など制限を余儀なくされた。</li> <li>担当教師と養護教諭等が連携して、発達段階に応じた性に関する学習が実施された。</li> <li>学校においては学校便り、学級懇談会・地域懇談会(一部の地域を除き)等により、また国・県・市及び人権啓発センターからのお知らせで保護者への啓発が行われた。</li> </ul>	
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍において人権の尊重など人としてのあり方の学習が知的理解にとどまらず実践につながるよう教材の選択や指導法の実践の必要がある。</li> <li>小学校から中学校まで9年間を見通した系統的な男女共同参画の教材開発及び指導方法の工夫が必要である。</li> </ul>	
評価	B	評価の理由	コロナ禍にあたって当初計画した内容や実践方法の変更があったものの、オンライン当感染対策を工夫しながら目標に沿った成果をみた。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	・男女の性差問題だけでなく、LGBTなどの問題も含めて、教育啓発をさらに進めていく必要がある。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 生涯学習課
施策の基本方向	2	あらゆる学習の場での男女共同参画の意識づくり	
具体的施策	16	男女共同参画を推進する教育・学習の推進	
取組内容	発達段階に応じて指導方法を工夫しながら、児童生徒の人権尊重や男女平等の意識を育てる教育・学習の充実を図るとともに、児童生徒の保護者やPTA活動等への男女共同参画意識の啓発を推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	荒尾市PTA連合会を通じて、各単位PTAへ、男女共同参画の形成に向けた取り組みについて情報提供を行なう。くまもと「親の学び」プログラムをとおして、現在子育て中の親や、これから親になる中高生等を対象に、男女共同参画の意識づくりや男女平等教育・学習の機会を提供する。
	目標	学校生活の中で男女共同参画社会の形成を阻害することがないよう、教職員と児童生徒の保護者が情報交換を行い連携を図る。 毎年数回、児童生徒保護者を対象にくまもと「親の学び」プログラム講座を開催し、その中で家庭における男性の家事育児について男女共同参画推進を行いました。家庭内での性別による固定的な役割分担意識に基づく慣行の見直しを図る。 市PTA連合会を通じ、男性の家事育児参加状況等についてヒアリング等を行い、現状把握を行う。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		家庭教育に関する講座(保護者対象)の開催数	回	10 (H28.3.31)	22	19	20	17	5	8

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	市PTA連合会や単位PTA等に周知し、親の学び進行役養成講座の参加を促した。壇上協働の参画社会形成に向け、家庭教育について学んだ。(6名参加)
	今後の課題	新しい生活様式や児童の取り巻く環境に配慮しながら、教職員や保護者の連携を図る。

評価	C	評価の理由	教職員と保護者とで十分な情報交換ができなかった。
----	---	-------	--------------------------

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	教職員と保護者の連携を図りながら、情報共有を今後も継続する。 くまもと「親の学び」プログラム講座も継続する。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	



# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 学校教育課
施策の基本方向	2	あらゆる学習の場での男女共同参画の意識づくり	
具体的施策	18	多様な選択を可能にする教育・学習機会の充実	
取組内容	児童生徒が、将来の仕事、結婚など自らの生き方について多様な選択ができるよう男女共同参画の視点に立った指導を行い、児童生徒の固定的性別役割分担意識に捉われない主体的な進路選択の能力の向上を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	児童生徒一人ひとりが、自らの生き方を考え、主体的に進路を選択する能力、態度を身につけられるよう、キャリア教育の充実を図る。
	目標	小学校…「勤労観」「職業観」を育むための授業実施(100%)。 中学校…職場体験学習あるいは、職業講話の実施(100%)及び進路を選択する能力の向上。 昨年度、「熊本県小・中学校における起業体験推進事業」推進校として取り組んだ府本小の実践を市内小・中学校に広める。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全児童生徒分のキャリア・パスポートファイルを配布して作成・活用を推進している。</li> <li>各学校では、年間指導計画をもとに、キャリア教育で伸ばす「基礎的・汎用的能力」を各学校で具現化して取り組んだ。</li> <li>府本小学校で12/3に3年間(令和元年～令和3年)の研究の成果発表を行った。キャリア教育で身につけたい資質能力を具現化する取組により、他者を理解する力・他者に働きかける力・コミュニケーションスキルなどを高めていく発表内容であった。</li> </ul>
	今後の課題	各学校では府本小の研究成果をもとに事項の実践を深めていきたい。 中学校における職場体験学習では、生徒は職業講話等で多様な職種の講和を聴くことはできたものの、職場体験は実施できず、体験を通して職業観等を学ぶ経験ができなかった。
評価	B	評価の理由 コロナ禍にあつて当初計画した内容や実践方法の変更、中止があつたものの、感染対策を工夫しながら目標に沿った成果をみた。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
A：目標を達成することができた  
B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった  
D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	将来の夢や目標を持つ児童生徒の割合を高めるためには、主体的に自己の進路を選択・決定できるような機会を設けること、そしてそれに対してできる限りの支援することが必要だ。また、将来の夢や目標を持つことで、社会的・職業的自立を促進するためにも全体的なキャリア教育の充実を図ることが必要不可欠である。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

# 基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	2	男女共同参画社会実現のための意識・社会基盤の改革	担当課 子育て支援課
施策の基本方向	3	子育て支援体制の充実	
具体的施策	19	ニーズに応じた子育てサービス等の充実	
取組内容	家庭における子育てに対する負担を軽減し、女性の社会参画とワークライフバランス、子どもの健やかな成長を推進するため、子育て環境の充実、制度の周知を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	①ファミリーサポートセンター事業の実施 ②地域子育て支援拠点事業の実施:地域全体で子育てをする基盤形成を図り、地域の子育て家庭に対する援助を行う ③学童保育の実施 ④保育所・認定こども園等にて通常保育に加えて、延長保育、障がい児保育を実施する ⑤病児保育事業の実施
	目標	①会員数360名。新規会員のための説明会・講習会・AEDの使い方や緊急救命法を含む安全講習会を行う。 ②子育て中の保護者の孤独や不安を払拭できるように居場所づくり、相談支援を引き続き行う。 ③一小校区の1単位増設につづき、新規開設や増設を検討する。 ④多様なニーズに応えられるよう、保育サービスの充実を図る。 ⑤広報に制度案内を掲載し、より一層の周知を図る。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	保育所の利用待機児童数	人	15 (H28.3.31)	22	45	15	12	9	5	0
	放課後児童クラブの利用待機児童数	人	12 (H28.3.31)	28	4	9	16	2	11	0
	病児・病後児保育利用件数	件	1,857 (H28.3.31)	2,100	2,215	2,329	2,239	1,178	1,614	2,000
	ファミリーサポートセンター利用件数	件	513 (H28.3.31)	408	618	433	373	115	205	700

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	新型コロナウイルスによる感染が広がり、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が繰り返し発令される中、全体として活動休止や臨時休園・休所をせざるを得ない時期があった。事業について広報あらかで周知する他、新型コロナウイルスによる休園・休所などの臨時的な対応についてホームページや愛情ねっとなどで最新の情報提供を行った。 ①会員数369名、活動件数205件。、昨年よりも会員数・活動件数が増加した。(R3年2月末:会員数339名、活動件数115件) ②まん延防止重点措置期間中は相談事業は継続したものの、子育て中の親子の居場所づくりとしての活動ができない時期があった。 ③一小校区に1単位増することで待機児童数対応を図った。 ④⑤継続して事業を実施できた。
	今後の課題	新型コロナウイルスの影響により病児保育やファミサポの利用件数が大幅に減少していたが、R3年度については増加に転じていることから、利用したい人のニーズは十分にあると考えられる。感染対策を十分に行いながら継続して活動を実施することが全体的な課題である。 ①会員同士が感染対策を十分に行いながら安心して利用できるよう、会員の自宅以外での活動場所を確保すること。また、子育てに孤立しがちな保護者として主に転入者への周知を十分に行う必要がある。 ②活動の参加者が主に母親と子どもであるため、両親いずれも参加しやすくなるような活動を行う必要がある。 ③放課後児童クラブの待機児童解消のため、一小校区(敷地内)に新設する。また、直営の児童クラブをより効果的、効率的に運営するため民間事業者への委託を検討する。

評価	B	評価の理由	新型コロナウイルス拡大により、まだまだ利用を控えるものが多く目標達成には及ばなかったが、R2からR3にかけて回復傾向にあり、目標に沿った結果が見られた。
----	---	-------	--

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか  
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた  
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	・待機児童問題の解消 ・感染対策を行いながら継続して事業を実施する。ファミサポについては、特に転入者への制度の周知を図る。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	